

第9回東郷地域協議会会議録(要約)

日時 令和6年12月10日(火) PM 7:00 ~ 8:30

場所 新城市役所4階会議室

出席者 委員24名 事務局4名

次第

1 あいさつ

2 議事

(1) 来年度協議会推進体制及び委員構成見直しについて

3 その他

1 あいさつ

2 議事

協議会の会議録署名

- ・定数29人のところ24人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

(1) 来年度協議会推進体制及び委員構成見直しについて

(事務局説明)

- ・令和6年度東郷地域協議会推進体制について
- ・東郷地域自治区地域協議会に関する運営要綱について

その後、5つのグループに分かれ、以下2つの論点について議論を行った。討議終了後、各グループのリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨となるが、各グループで出た意見の内、原案通りで良いという以外の意見を以下にまとめた。

① 来年度の地域協議会推進体制について

(会議頻度)

- ・とにかく話し合いの時間が少ない。予算の話し合いは実質1時間の計5回しかない中で1,000万円の予算立てを考えることが適当かどうか。それに使う時間を増やしたいということで、通年だとかなり大変なので、せめて5~8月の4ヶ月間だけでも月2回に会議を増やせないか。
- ・区長は色々な業務の兼務が多いので、会議回数をこれ以上増やされると大変厳しい。
- ・10月の建議を考えると時間は足りないとは思いますが、といっても月2回はきつい。また、月2回にしたところで果たして協議が進むのか。結局、別の団体との絡みがある。学ぼうの柱の活動団体の会議も月1回ほどあるので、月2回にしたところで、議題がうまく進まないかもしれない。なので、月1回の会議では足りないときに、柱ごとに会議を増やしてみてもどうか。事務局の負担は増えるが、もう少し話を詰めないといけなくなった時に、独自で柱ごとに1~2回増やせるような体制があったら良い。

【決定事項】

- ・会議頻度は月1回で変更無しとするが、柱ごとに足りなければ任意で会議を開催できることとなった。

(会議開始時間)

- ・開始時間 19 時というのが、女性陣からするとちょっと早くて厳しい。ご飯の支度をしてから出て来ることを考えると、19 時半からの開始がありがたい。ただ、そのために会議の時間が短くなるとうかとも思うが、八名地区は 19 時半から 21 時半くらいまでやるという話も聞いたので、そういう方法もありではないか。

◎主な意見

- 会 長 女性陣からの意見として出てきた 19 時半から開始というのはどうか。終了時間は一応 21 時としておいて、どうしても延長したいということであれば、時間延長するということ、とりあえず 19 時半から 21 時ということできたいと思うがどうか。
- 委 員 資料を事前配布し、説明時間及び発表時間を省略することで、討論の時間を確保するということがどうか。半分近くは女性がいないと、意見が男性の意見ばかりになってしまうので、私は賛成。
- 委 員 土曜日の午前中にやったらどうか。それか朝 5 時から 7 時とか。
- 委 員 皆さん都合つくのか。仕事されている方もいるし、女性陣だと、その時間帯は朝食準備など色々と支度をしていると思うので無理だと思う。
- 会 長 では、19 時半から開始し、21 時を目標に終了、最大 21 時半までということで決議を取りたい。賛成の方は挙手をお願いしたい。

【決定事項】

- ・次回の会議から開始時間は 19:30 からとなった。

(会議運営の工夫)

- ・時間の有効利用の点で、事務局から資料の事前配布を行い、それを委員が事前にしっかり読んでいただき会議に臨んでもらう。これは月 1 回の会議なら可能かと思うが、月 2 回だとかなり準備や配布が大変になってしまう。もし月 2 回になったとしたら、準備の工夫、例えばメールなどといった電子媒体を活用し事前配布や準備の工夫等もしていただきたい。
- ・会議の最初の説明や報告、それから最後の各柱の発表の時間をもっと短くし、その時間も話し合いに使えば良いのではないか。事務局がしっかり会議資料を作成していただいているので、これを委員が事前に読み込んでおけば、当日の説明は無くすぐに話し合いに入ることが出来る。最後の発表の時間も各柱で進展があったり、それぞれ意見が必要などときには発表していただくという形で、そうでなければそういった時間も話し合いの方に使えたらどうか。
- ・会議の終盤の各柱の発表についてだが、他の柱の議論に入っているわけではないので、発表内容を聞いても意見することが難しく、自分の柱のことで精一杯。この発表を聞く時間を討論の時間に回したらどうかと思うので、発表を聞く以外の方法で共有するのも 1 個の手ではないか。

- ・市の事務局がファシリテーションの研修を積んできてもらい、各グループに入って取り回しをしてもらったらどうか。

◎主な意見

- 会 長 会議の進め方についてじっくりと話し合う時間が欲しいということで、事務局さんにはとても大変になるかもしれないが、事前に資料を送ってもらってもらえるか。
- 事務局 事前郵送は可能だが、その代わり必ず見た上で会議に臨んでいただきたい。
- 会 長 資料を事前に送るということは、その資料は必ず会議には持ってくるということを忘れることのないようにそこだけはよろしくお願ひしたい。事務局には苦勞をかけるが、事前に資料を届けていただくということで、皆さんじっくり読んでもらい、会議の中では説明はしない。その分、会議内容が濃くなると思うので、会議の回数は増やさない方向でいきたい。どうしても柱の中で、ここはもう少し話し合いたいということがあれば、事前に事務局と相談して、会合をすることは可能だと思う。どうしても会合が必要であるならば、相談いただきたい。
- 委 員 資料の配布について郵送以外の方法として、例えばLINEやパソコンメールなど、そういった電子媒体で送っていただきたい。資料の事前配布は、全員に郵送するとなると準備も大変だし、印刷代や郵送代もさらにかかってしまう。なので、可能な方には、パソコンメールやLINEなどの電子媒体を使用しPDFで送ってもらえれば、各自で印刷したい人は印刷を行って確認をする。当日の会議では改めて紙の資料を配布してもらえれば結構かと思う。
- 委 員 その対応が可能な方はそのやり方でやってもらい、難しい方は郵送対応とするなど、高齢者もいるし、そもそもネット環境が無く出来ない方もいるので、やり方は選択出来るようにしていただきたい。
- 委 員 資料を市のホームページに載せるというのはどうか。議事録もホームページ載せてもらっている。
- 委 員 特に決定していない内容の資料を市のホームページに載せることで、要らぬ誤解を生む恐れがあるので、ホームページはまずいと思う。それよりかは、いわゆるクラウドと言われる、データをインターネット上に置いておいて、そのURLアドレスにアクセスし資料を見ることが出来るようにしたらどうか。データをクラウドに置いたら、電子媒体を通じてお知らせしてくれるような仕組みだと良い。
- 事務局 クラウドという若干難しい言葉が出ましたが、事務局からただURLを送るだけとなる。皆さんは届いたURLにアクセスし文書を開くことが出来る。確かにホームページに置くよりかは、クラウドの方がフォルダも作れて整理可能だし、利便性が高いかもしれない。
- 会 長 それでは、強制ではないが、会議資料が出来たら電子媒体を通して皆さんに送付されるので、パソコンや携帯等でファイルを開いていただき、会議資料を確認しておいていただきたい。併せて、開催通知も同様の取り扱いとさせていただくということでよろしいか。当日の会議では、紙の会議資料を渡すようにする。
- 委 員 それで良いかと思う。
- 事務局 数年前、会議をZoomでやった時も、Zoomで参加する方と対面で参加する方の2通りが混在した形で会議を開催した経緯もある。今回の件も、事務局の方でレクチ

ヤーさせていただくので、なるべくこの新しいやり方に挑戦していただきたい。

会 長 この形で賛成の方は挙手をお願いしたい。

【決定事項】

・次回の会議から開催通知及び会議資料は事前に電子媒体を通じて委員に送付することになった。委員は会議当日までに会議資料に目を通していただくとともに、事務局による会議当日の説明を省略することで、会議におけるグループ討議の時間を増やす。

※電子媒体で資料を受け取ることが困難な方は紙資料を郵送する。

(柱のテーマ、編成について)

- ・特に人口が少ない区が大変な人材不足であるため、区長が毎年地域協議会委員も兼務しているという体制になっている区ばかりで、何年か続けてやるという体制となっていない。1年だけの新生で、今回も今年初めて地域協議会に出た方ばかり。委員を続けてやっている方も多く、昨年度からの引継ぎ事項を理解して承認するという行為だけで精一杯で、新しいことが出来るというような状況では無かったというのが、現区長の総意。区長は、災害があるたびに走り回っていたというのがここ数年の傾向で、今年も片手以上の土木要望その他要望を市に出しているような状況。来年度は、区長だけで構成されたチームが主として守ろうの柱を担当することを考えて欲しい。
- ・暮らそうと守ろうを一本化し、テーマを絞った上で検討していくことも1つの手ではないか。また、初めての委員もいるため、各柱のリーダーは固定としても、ローテーションで少しずつ他の柱で話を聞いて回るというのも楽しいし、多くの意見を聞けるので勉強になる。その辺は考えていただけると嬉しい。
- ・リーダーシップがとれる人を中心に柱を構成することが必要で、柱によっては漠然とした話をして時間ばかり過ぎてしまっているようなところがあった。柱自体の事業の見直しがやっぱり必要。例えば、暮らそうの中に掲載されている事業の内、今別の柱でその役割を担っている形に発展しているところもあり、具体的に何を協議することが求められているのかがちゃんと明確になっていると、初めての委員でも少しは分かる。また、協議するためには、素材の情報が必要だが、その情報もないまま、何となくその柱のテーマに沿って意見を出して共有しているという状況なので、情報を取りに行くとか、提供されると良いのではないか。
- ・実際には年に4回が地域計画を考える会議になっているが、どうしても1回目は毎年同じ話から始まる。今この体制で良いのかという話から始まってしまうので、新しい委員さんたちに今までどんなことをしてきて、これからこういうことを考えていくというのがきちんと伝わっていくと良い。また、柱のメンバーが年度替わりで総入れ替えになるのはちょっと辛い。せめて1人以上の経験者がいて、前年度の内容を伝えていくような体制が取れた方が良いのではないか。

【決定事項】

・これらの意見を踏まえて、来年度の柱のチーム編成や進め方について検討していく。

(地域計画)

- ・地域計画策定に関し、これは当時稲垣委員が会長の時代に作られたということで、最初策定した時には理想論であった、非常に夢を語っているということで、今4年経った後の段階で具

体的に何が出来るのか何をやりたいのか、といった振り返りが必要になってくるのではないか。一旦、中間報告というか、現時点での反省と総括、これについて柱で出来たこと出来なかったことをまとめて、本年度稲垣委員の任期中にぜひこれを報告して欲しい。それを踏まえて次年度それぞれでアクションを起こすようなことを考えてもらいたい。

◎主な意見

委員 4年前に作成した地域計画の反省と総括を次の会議でぜひやっていただきたい。今年度中にお願ひしたい。

会長 それでは、次回会議のテーマの1つとして、今までの柱のメンバーで、これまでの事業の反省と今後どうしていこうかということ話し合ってもらおうのでよろしくお願ひしたい。

【決定事項】

・次回1月の会議では、各柱で地域計画の反省と総括を行い、次年度に生かせるような話し合いを行うこととなった。

(分科会)

・地域計画見直しの分科会は、もちろんやった方が良くはないか。これを1年でやるのか2年がかりにするのか、また委員の選出方法。おそらく全体会議とは別日になってくるので、委員に負担がかかるので大丈夫か心配。

② 来年度の地域協議会委員構成について

(区長会とのつながり、区民の認知度の低さについて)

- ・これまでの経緯として、以前は区長さんが委員になっていたが、1年交代になるので、地域協議会の仕組みなど経緯がよく分かっていないうちに交代してしまうということで、最低でも2年は長く活動が出来るように、区長中心の運営から現在のシステムへと切り替わった。ただ、確かに運営的には適切だったと思うが、区長の数が減ったということで、区長会や行政区との繋がりが非常に薄くなってしまった。具体的に言うと、各区民がこの地域協議会についてどれだけの認知や関心を持っているのか。例えば、防災グッズなどの配備が地域協議会によるものといった認知も出来ていない。PRをしっかりしていくことを考えていかなければいけない。一般区民は様々な地域の問題についての切迫感を地域協議会に助けを求めるといった感じがあまり伝わってこないと感じる。
- ・昨年度から区長会の方に事務局が出席し地域自治区の説明をしているということで、区長経験者からそこで改めて地域協議会のことを知る事が出来たとの声を聴いている。地域協議会委員が区長ばかりだと、先ほど言った本来の地域協議会の形を作っていくことは難しいが、区長もゼロになってしまうと、区長会の繋がりが無くなってしまふ。現在区長は6つの区から出ているが、区長がそのまま出られるようなシステムを継続して作れるのであれば良いが、もしそのシステムが変わるようなことになれば、ある程度の人数の区長は、地域協議会の中に入っていた方が良くはないか。
- ・区長は1年、委員は2年という仕組みが難しい。区長の参画の有無で区長会とのつながりの

希薄性が左右されないように、区長会への連絡が出来るような仕組みづくりがあれば、区長の数に左右されなくのではないか。また、人口が多い地区だからといって、区長のなり手がたくさんいるわけではない。今 65 歳過ぎても働いている人がたくさんいるという中で、中々区長の受け手がいない。また、区長会推薦枠という仕組みは、そもそも区長会から推薦されたのか、例えば、PTA をやった人が地域協議会に参加してくる仕組みにするということも 1 つだろうし、そもそもネーミングとしては区長会推薦枠ではなく、地域推薦者を表に出して括弧で地域協議会推薦のような形にしていた方が、実態に合ったネーミングになるのではないか。もし、PTA を含め子育て世代からも参加してもらうとなると、開始時間を 19 時半からにするなど、子育て世代も参加しやすい工夫が必要となるのではないか。

- ・毎年度、地域自治区予算の使い道がどうしても新予算を検討することに組み込まれていってしまうので、年に何回か回るチラシでしか、地域自治区予算はこんなことに使われているというが見えない。地域自治区予算を活用して、東郷地区ではこんなことやりました、同じく新城地区ではこんなことやりましたというのが、あまり見えてこないのが、制度が地域に浸透していない原因であると少し思う。地域活動交付金は年度末に模造紙 1 枚程度で張り出されているところもあって、地域住民が目にする機会があると感じるが、地域自治区予算はそれが見えてこないのが残念。

◎主な意見

委員 地域協議会と区長会との連携ということで、区長が委員としている区は良いけれども、区長がいない区に関しては、地域協議会の議事録を区長に郵送する、あるいは、電子媒体で送るような形で、内容を区長にも把握してもらうことが必要ではないか。年度末に引き継ぎという形でやっても、中々頭に入らないと思うので、その都度議事録を確認していただくことが出来れば、もう少し地域協議会と区長との連携が深まるのではないか。

【決定事項】

- ・地域協議会委員ではない区長に対し、地域協議会の会議録を送付することとなった。

(委員募集方法)

- ・委員をやることで地域協議会や地域自治区制度を知ることにもなるので、1 人が長くやるのももちろん地域協議会のためだと思うが、何期、何年までと上限を設けることで、多くの方に委員をやってもらう機会も増えるのではないか。委員をやりたいタイミング、それから広い世代の方に委員になってもらうための声掛けが大事。委員になりたい人がどこかに潜在的にいるのか、もしくは何かしら声掛けすることで担ってくれる方が見つかるのか、そういったところも含めて、委員募集の方法を考える必要がある。

(地域協議会運営要綱)

- ・第 6 条の会議録署名については、会長だけだと、確認が少し弱くなるので、会長プラス 1 名という形であれば、委員の負担も減りながら、会議録の確認という役割を果たせると思う。

◎主な意見

会 長 推薦枠や委員構成の人数は、変更の意見も出なかったので、現状のままでよろしいか。決議をとっていきたいので、現状維持で良いと思う人は手を挙げてください。

【決定事項】

・来年度の地域協議会委員構成については現状のままとなった。

◎主な意見

会 長 各区によっては区長が出るところもあるので、ずっと1年しかやらない区長がいても、必ず次の区長へ引継ぎやアドバイスを言っただけであれば、1年だが、2年、3年とやっていくような感覚になるので、そこはよろしく願いしたい。もう1点、地域協議会運営要綱の第6条、会議録の署名人は会長プラス1人でも良いのではないかということだったが、現状の2人から1人に変更しても良いのか。賛成の方は挙手をお願いしたい。

【決定事項】

・今回の会議から会議録署名人は会長プラス1名の委員となった。

3. その他連絡事項

・地域協議会委員報酬、費用弁償支払(令和6年8~11月分)12月下旬に支払予定

【20:30 終了】